

令和8年度当初予算案



令和8年2月17日

(1) 予算規模

令和8年度一般会計当初予算案額

6,338億1,538万円

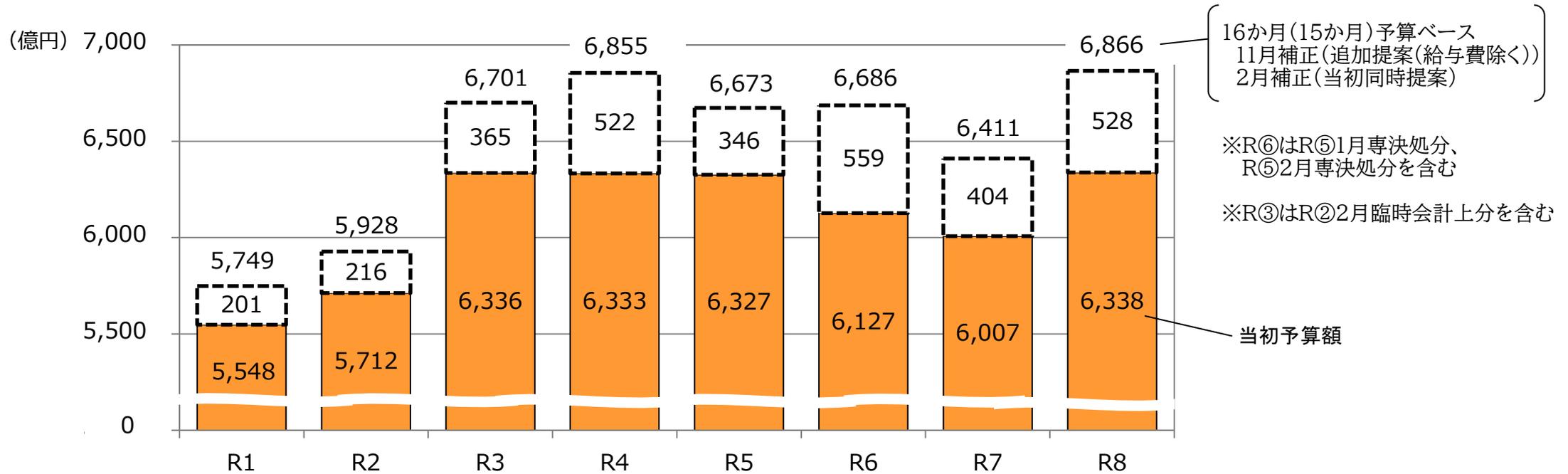
(R⑦比+331億5,139万円、+5.5%)

11月補正予算（追加提案のうち給与費除く392億円）
2月補正予算案（2月議会冒頭提案136億円）

を含めた16か月予算ベースでは

6,866億70万円 (R⑦比+454億8,788万円、+7.1%)

▶物価高騰への対応や、**社会保障関係経費・人件費**の増加に加え、**小学校給食費の負担軽減**など国の施策への対応や、**施設整備の本格化**（富山県武道館、こども安心センター（仮称）等）のほか、計画的な公用施設の改修のための**基金積立て**等により、**令和7年度から大幅に増加**（当初予算及び16か月予算ベースのいずれも**過去最大の予算額**）



(2) 重点施策の状況

1. 能登半島地震からの復旧・復興の加速化

<31億円>

ポイント

様々な主体の参画による地域防災の総合力アップ

- ◆避難所の環境改善 防災資機材・災害対応車両の導入支援、県立学校体育館への空調整備 等
- ◆体制構築・人材育成 富山版DMATの創設、学校相互支援体制の構築、防災士の養成 等

2. 「人材確保・活躍の富山モデル」の構築に向けた取組みの推進

ポイント

4つの柱で多様な人材の確保・活躍を後押し

- ①人材確保 人材マッチングプラットフォームの創設、エッセンシャルワーク分野のマッチング支援 等
- ②働き方改革 女性活躍の促進、学校の多忙化解消、専門人材の配置による自治体業務DXの推進 等
- ③人材育成 まちづくり・観光・経営など、経済活動や地域振興を牽引する人材の育成 等
- ④省力化・省人化 ICT・ロボットの導入による作業負担の軽減 等

富山県人材確保・活躍パッケージ、始動

— 「人が減る」時代を、「人が輝く」転機に。みんなでつくる「選ばれる富山」 —

人材確保

富山とつながる、新しい入口



人材確保・活躍の富山モデル

STEP 1 力強く始動
パッケージを現場に展開

STEP 2 現場で変化
先進的な成功事例が誕生



STEP 4 次の人材を誘引
人が集まり、選ばれる富山へ

STEP 3 共感が拡大
人を大事にする評判が拡散

中長期の取組み



働き方改革

誰もが、自分らしく働ける



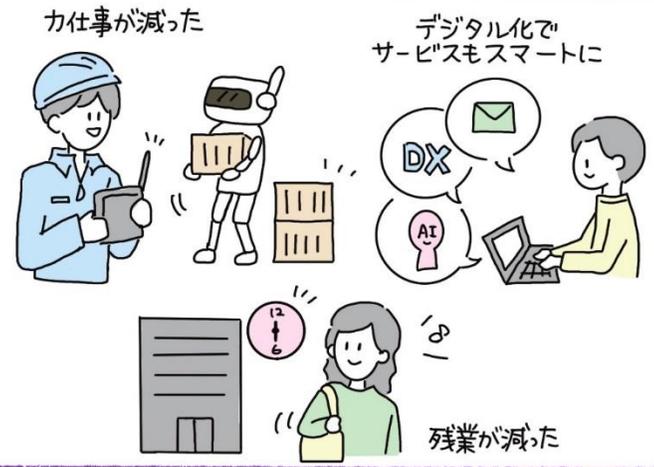
人材育成

学びが、地域の力になる



省力化・省人化

技術で、働くをもっとラクに



I. 策定の趣旨

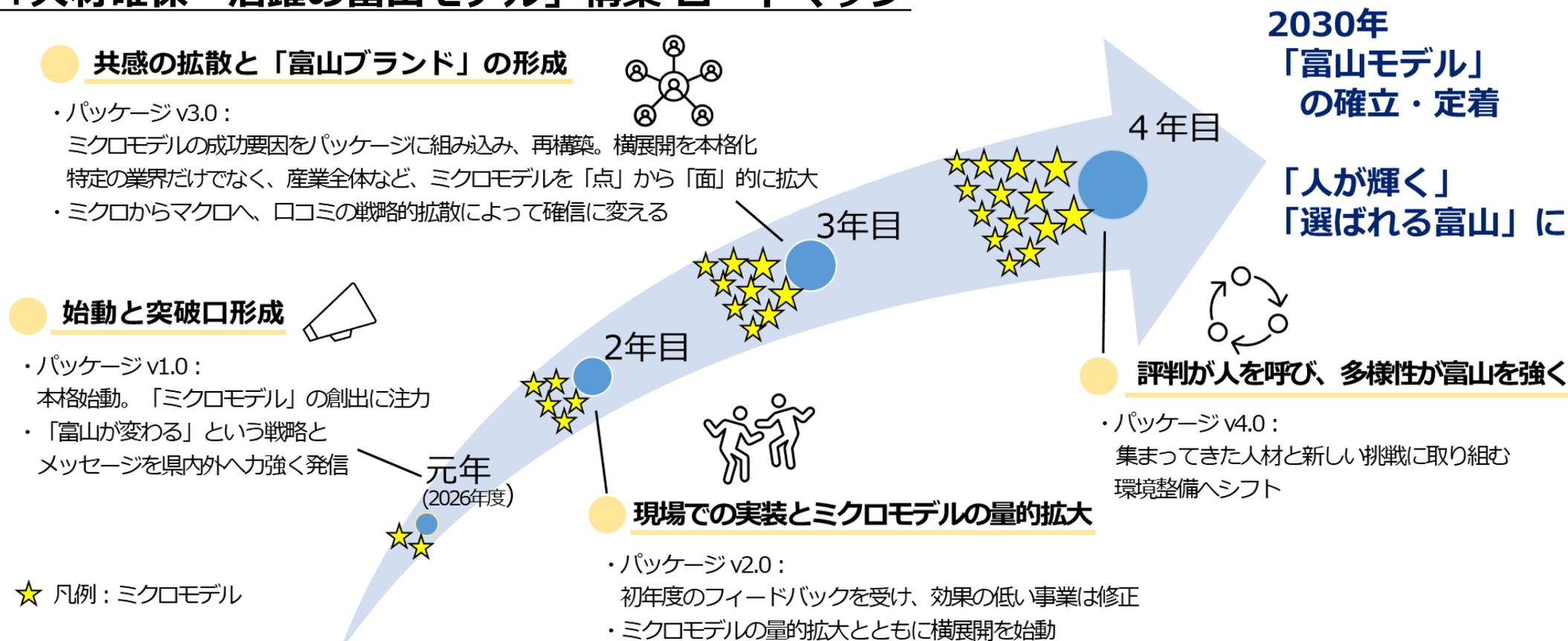
1. 背景：「**労働供給制約社会**」 県民生活の維持に不可欠なエッセンシャルワーク分野をはじめ、人材不足が一層深刻化。
2. めざす姿：「**人材確保・活躍の富山モデル**」 「人を奪い合う」発想から「人が富山を選ぶ」構図への転換を図る。
3. 期間： **富山県総合計画の計画期間に準拠** 2030年のモデル確立に向け、パッケージを不断に見直しながら推進する。

II. 基本的考え方：「実装重視の全方位・同時多発型アプローチ」

人材不足の要因は多様かつ複合的。4つの柱を同時かつ現場主導で展開し、**成功例（マイクロモデル）**を創出・横展開する。

III. パッケージの概要：全庁横断の総合的施策（事業・取組み数 277本、予算額 約167億円）

IV. 「人材確保・活躍の富山モデル」構築 ロードマップ



(2) 重点施策の状況

3. 総合計画の推進

<125億円>

(1) 重点的に推進する人口減少対策

ポイント

人口減少に適応しながら、ピンチをチャンスに変えるリーディング事業

◆人口減少の「緩和」

地域課題解決への参加や地域交流でつながる関係人口の拡大・移住の促進
ものづくり産業や農業分野、観光分野の振興による人材の呼び込み

◆人口減少社会への「適応」

将来も安心して生活するための医療やインフラ等の維持、次代を担う人づくり 等

(2) 「未来に向けた人づくり」・「新しい社会経済システムの構築」

ポイント

総合計画の着実な実行に向け、12の政策分野の事業を体系的に展開

◆こども・子育て

富山県こどもまんなか条例の普及啓発、困難な問題を抱えるこども・女性への支援 等

◆教育

「新時代とやまハイスクール構想」の推進、教育費負担の軽減 等

◆まちづくり・交通

鉄道や航空ネットワークの維持・活性化、中山間における地域運営の仕組みづくり 等

◆観光

広域連携による誘客促進、インバウンドの拡大、「寿司といえば、富山」の推進 等

「富山県経済の好循環加速化パッケージ」の展開

■物価高、深刻な人手不足など、中小・小規模事業者が直面する厳しい事業環境を乗り越えるため、**生産性向上**を起点に、**持続的な賃上げ**を実現し、**経済の好循環を加速**させることが重要。

■その実現に向け、「富山県経済の好循環加速化パッケージ」（第1弾～第3弾の合計：**173.9億円**）を展開。

生産性向上

● 構造転換・付加価値向上

- ・融資制度「生産性向上・賃上げ支援枠」
- ・専門家派遣による経営力強化集中支援
- ・中小企業トランスフォーメーション補助
- ・とやま人材リスキリング補助
- ・福祉分野におけるテクノロジー導入支援
- ・とやま型スマート農業普及拡大支援

● 価格転嫁の推進

- ・価格転嫁サポート補助
- ・価格転嫁推進サポーターによる伴走支援

持続的な賃上げ

● 賃上げ環境の整備

- ・賃上げ応援支援
- ・融資制度「生産性向上・賃上げ支援枠」(再掲)
- ・富山県賃上げサポート補助
- ・富山県キャリアアップ奨励
- ・介護分野の賃上げ・職場環境改善支援
- ・障害福祉従事者の処遇改善支援
- ・医療分野の賃上げ・物価上昇に対する支援

物価高対応・消費喚起

● 物価高対策

- ・原料米価格高騰対策緊急支援
- ・融資制度「米価高騰対策枠」
- ・医療・介護・保育・障害福祉施設、学校施設、農林水産業、指定管理施設への支援
- ・ひとり親家庭への支援
- ・学校給食費負担の抜本的軽減

● エネルギー価格高騰対策

- ・特別高圧、LPガスの負担軽減

● 消費喚起

- ・プレミアム商品券の発行による生活支援・消費喚起
- ・省エネ家電・機器買い換え促進による生活者支援

戦略的な
広報発信

- 関係機関・商工団体等と連携した展開
- 県HPの特設サイトで随時更新・発信

県HP特設サイト⇒



「富山県経済の好循環加速化パッケージ」の展開

第1弾【R7 11月補正】

先行的な現場密着の即応支援（県単独）

第1弾～第3弾計 **173.9億円**

4.2億円

- ・専門家派遣による経営力強化集中支援事業（728万円）
- ・価格転嫁サポート補助金（500万円）
- ・県融資制度「生産性向上・賃上げ支援枠」（4億円）
- ・賃上げ応援事業（500万円）

第2弾【R7 11月補正（追加）】

重点支援地方交付金等の先行的な活用

64.6億円

- ・中小企業トランスフォーメーション補助金（7億円）
- ・とやま人材リスクリング補助金（2,700万円）
- ・賃上げサポート補助金（3,800万円）
- ・キャリアアップ奨励金（9,000万円）
- ・医療・介護・障害福祉の賃上げ支援（26億100万円）
- ・特別高圧、LPガスの負担軽減（3億2,100万円）
- ・プレミアム商品券の発行（3億9,000万円）
- ・原料米価格高騰対策緊急支援（3億6,500万円）
- ・県融資制度「米価高騰対策枠」（1億2,500万円）
- ・社会福祉施設・学校・農林水産事業者等の物価高騰支援（18億965万円）

第3弾【R7 2月補正】【R8 当初】

国補助、重点支援地方交付金の追加活用、
県単独の追加支援

105.1億円

（R7 2月補正 47.3億円）
（R8 当初 57.8億円）

- ・福祉分野のテクノロジー導入支援（6億5,311万円）
- ・低燃費タイヤ導入費支援（1,500万円）
- ・とやま型スマート農業推進（1億4,149万円）
- ・農業共同利用施設再編集約合理化等支援（12億7,787万円）等
- ・賃上げ応援事業（1,000万円）
- ・農福プラス連携マルシェ（仮称）開催（100万円） 等
- ・価格転嫁総合推進事業（1,570万円）
- ・省エネ家電・機器買い換え促進（7億円）
- ・ひとり親家庭応援（1億1,600万円）
- ・子ども食堂物価高騰対策応援（400万円）
- ・社会福祉施設・学校・農林水産事業者等の物価高騰支援（9億725万円）
- ・高齢者施設・障害福祉施設のサービス継続支援（7億9,940万円）
- ・学校給食費負担軽減（25億4,465万円）

（3）既存事業の抜本的見直し・再構築

限られた人的・財政的資源を有効に活用するため、長年継続している事業の廃止・停止検討、スクラップ・アンド・ビルドの徹底
＜目標：既存の事業本数を1割削減（あわせて既存事業費も1割以上削減（一般財源ベース））＞

- ・見直し本数： **532事業を見直し** うち、廃止・停止 **210事業**（対象2,006事業の**10.5%**に相当）
- ・見直し効果額：**13.1億円**（対象事業：約70億円の**18.7%**に相当）の一般財源を削減し、新たな事業等に活用

【主な取り組み事例】

○道路の維持修繕を重点的に実施（土木）

- ・県単独で実施する道路改良等を一時的に縮減し、区画線の引き直しや補修修繕などの維持修繕を重点的に実施

○富山空港の運営に民間活力を導入（交政）

- ・民間の創意工夫を活用し、官民連携による空港及び地域の活性化を図るため、富山空港に混合型コンセッションを導入

○県人材活躍推進センターの体制を見直し（商労）

- ・センター内の女性就業支援センターを改組し、性別に関わらずに、相談者の事情・状況に応じた支援・情報発信を強化

○とやま観光塾を見直し（観推）

- ・「とやま観光塾」を廃止し、新たに稼げる観光人材育成とネットワーク構築をコンセプトとした「とやま観光ビジネスアカデミー」を創設

○食育及び地産地消に関する会議・計画を統合（農水）

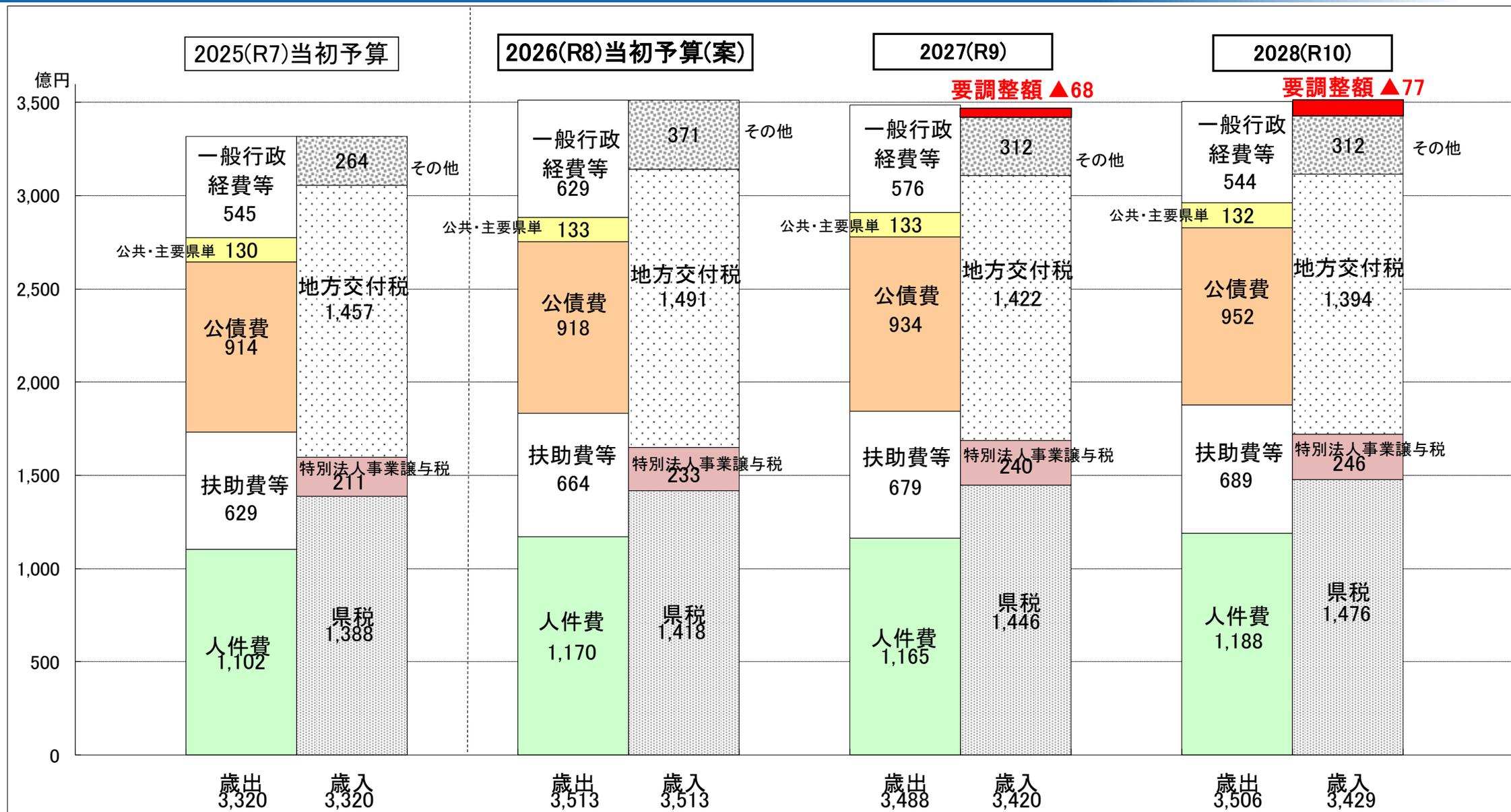
- ・これまで別々に設置していた「食育推進会議」と「地産地消県民会議」を統合し、あわせて「食育推進計画」と「地産地消戦略」も統合

○県刊行物センターを廃止（知政）

- ・デジタル化の進展に伴い、県刊行物センターを廃止するとともに、県民の利便性向上等を図るため、県発行刊行物の電子化を促進

(参考) 中期的な財政見通し

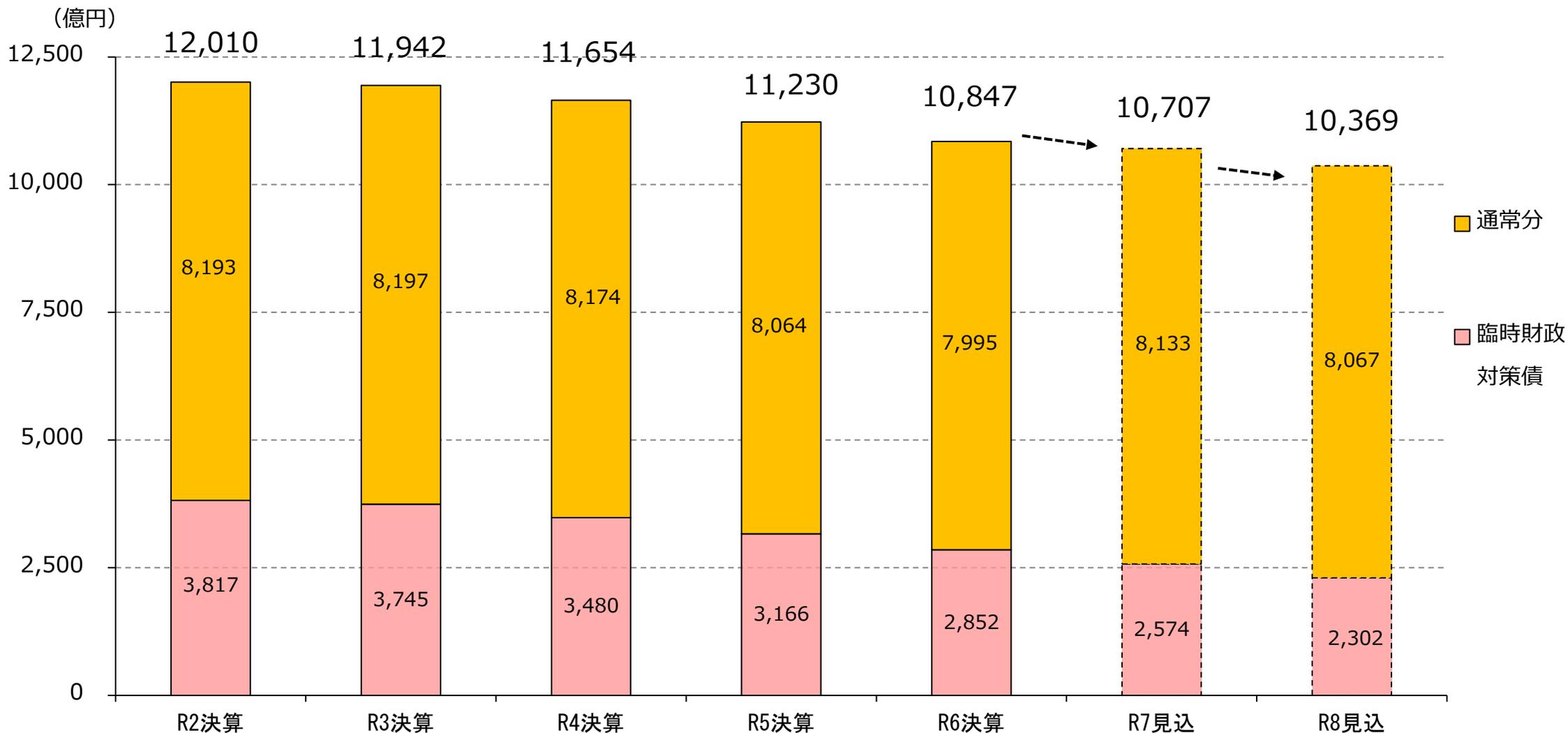
※令和8年2月試算、一般財源ベース



(注) 端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。県税は、都道府県間清算及び市町村交付金交付後の実質税収ベース。

(参考) 県債残高の見通し

県債残高は、防災・減災・国土強靱化対策等で増加するものの、臨時財政対策債の償還が進むため、引き続き減少する見通し



※R8は当初予算起債見込額のみ計上

能登半島地震からの復旧・復興の加速化

地域防災力の向上

① 地域防災力向上支援事業 3,000万円

防災資機材の整備や地区防災計画の策定など、自主防災組織や民間事業者による地域防災力向上の取組みへの支援を拡充

② 避難所生活環境改善事業 1億2,000万円【R7.2月補正】

民間による災害対応車両導入に係る費用への補助及び県による避難所に必要な資機材整備を通じ、避難所の生活環境を抜本的に改善



導入を予定するトイレカー、水循環型シャワー

③ 県立学校体育館空調設備整備事業 6億5,180万円

児童生徒等の熱中症対策及び避難所としての機能強化のため、特別支援学校への体育館空調整備に加え、県立高校の体育館に移動式空調を配備



体育館の空調設備

④ 感震ブレーカー普及推進事業 100万円

地震時の電気火災リスクを低減するため、感震ブレーカー（地震感知時に自動的に電気を遮断）の設置補助を行う市町村を支援

⑤ 防災井戸整備支援事業 900万円

災害時の生活用水を確保するため、市町村が実施する防災井戸の整備を支援

能登半島地震からの復旧・復興の加速化



地域防災力の向上

⑥ 富山版DMAT創設事業 100万円

県内の災害医療体制を強化するため、富山版DMAT（災害派遣医療チーム）隊員を養成・登録

⑦ 災害時の学校相互支援体制構築事業 110万円

教職員等による災害時学校支援チームの令和9年度創設に向けて、県内における相互支援体制の構築を推進

⑧ 住家の被害認定調査市町村支援事業 160万円

災害発生時の住家の被害認定調査及び罹災証明書の発行を迅速かつ適切に実施できるよう、県及び市町村職員向けの研修会を開催

⑨ 緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練事業 1,350万円

中部7県の消防機関（緊急消防援助隊）等が連携して、本県被災を想定した実践的な訓練を実施

⑩ 防災士養成事業 1,910万円

地域の「共助」の担い手として防災活動の中心となる防災士の養成と質の向上を図るため、養成研修やスキルアップ研修を開催



令和6年能登半島地震でのDMAT活動



防災士養成研修

能登半島地震からの復旧・復興の加速化

くらし・生活の再建、公共インフラ等の復旧

① 宅地液状化等復旧支援事業 2億1,000万円

地震により液状化被害を受けた宅地の地盤改良等の復旧を支援

② 自宅再建利子助成事業 1億4,000万円

地震により被害を受けた自宅を新築、購入又は補修するために融資を受けた場合の借入額の利子分について助成

③ 安全・安心とやまの住まい耐震化等促進事業 2億40万円

木造住宅の耐震化を促進するため、耐震診断や改修工事等を支援

④ 樗平園地及び鐘釣温泉園地の安全対策事業 3,345万円

黒部峡谷鉄道的全線開通に向け、地震で被害があった樗平園地及び鐘釣温泉園地の安全対策を実施

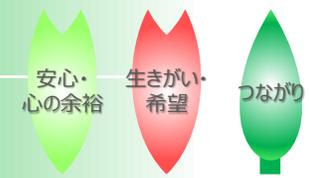
⑤ 忠霊塔広場修繕事業 2,100万円

地震により柵の倒壊等が発生している忠霊塔広場（富山市八ヶ山）について、損傷箇所の修繕と地盤の復旧整備を実施



液状化の被害

能登半島地震からの復旧・復興の加速化



地域産業の再生、北陸全体の復興に向けた連携

① 黒部宇奈月キャニオンルート始動事業 3,400万円【R⑦.2月補正】

黒部峡谷鉄道的全線開通後、速やかに「黒部宇奈月キャニオンルート」一般開放・旅行商品化が開始できるよう準備を進めるとともに、全線開通後の新たな魅力創出を支援

② なりわい再建支援事業 30億7,000万円【R⑦.11月補正】

被災した中小企業等の施設・設備の復旧等を支援

③ 県融資制度「震災対策特別融資」の延長

地震による被害を受けた事業者の資金繰りを支援

④ 漁業経営構造改善事業 11億9,149万円【一部R⑦.11月補正】

漁協等が実施する水産業共同利用施設の復旧・整備を支援

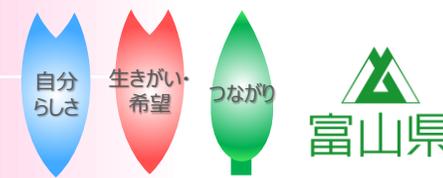
⑤ 富山湾漁場環境総合調査 1,000万円【R⑦.2月補正】

地震後の漁場環境の状況を把握するため、富山湾の広域的かつ総合的な調査を実施



ベニズワイガニ調査の様子

「人材確保・活躍の富山モデル」の構築に向けた取組みの推進



人材確保、働き方改革

① 人材マッチングプラットフォーム創設事業 1,350万円

エッセンシャルワーク分野をはじめとする人手不足への対応や継続雇用への新たな労働人口創出、多様な働き方の推進に繋げるため、スポットワークを切り口とした人材マッチングプラットフォームを創設

② 人材活躍推進センター体制強化事業 700万円

様々な分野の深刻な人材不足に対応するため、窓口機能を強化するなど人材活躍推進センターの体制を強化

③ 障害のある学生の就職・定着促進支援等事業 1,120万円【R⑦.2月補正】

新卒障害者の就業・職場定着を支援するとともに、人材活躍推進センターに障害者雇用推進員を配置し、企業における障害者雇用の促進を強化

④ 労働需給シミュレーション活用促進事業 180万円【R⑦.2月補正】

分野ごとのより効果的な人材確保等の施策の深化を図るため、県独自の労働需給シミュレーションの内容を充実

⑤ 「富山で働こう」拡散展開事業 500万円【R⑦.2月補正】

即戦力人材の確保と定着を推進するため、県外で働く若者を主な対象として、富山での就職・転職を促す情報発信を行うとともに、企業と転職希望者との交流機会を創出するイベント等を実施



「人材確保・活躍の富山モデル」の構築に向けた取組みの推進



人材確保、働き方改革

⑥公共交通人材確保・活躍推進事業 1,900万円

公共交通サービスを維持するため、運行を支える担い手となる運転手の確保・活躍に向けた取組みを実施

⑦福祉・介護人材マッチング・定着強化事業 1,150万円

介護人材の裾野を拡大するため、福祉人材センターにおけるマッチングの強化を図るとともに、介護事業所における外国人材の定着を支援

⑧とやまの教職魅力化・働き方改革一体プロジェクト事業 1,440万円【一部R⑦.2月補正】

優れた教員志望者及び講師を確保するため、働き方改革の推進と人材確保の両面からの取組みを一体的に展開

⑨水産業担い手確保促進事業 400万円【R⑦.2月補正】

漁業に関心のある人を県内での漁業就業につなげるとともに、県内の若い世代が富山の水産の魅力に触れる機会を創出

⑩女性の活躍促進官民連携事業 1,300万円【R⑦.2月補正】

企業トップのメッセージを浸透させ、社内風土を改善するキャンペーンを新たに実施

⑪自治体業務DXの推進

- ・県内市町村に標準化システム稼働支援のためのデジタル人材を派遣 2,864万円
- ・県や市町村のDXを統括的に助言・支援する人材を新たに配置 981万円



バス運転手専門の就職イベント



介護現場で活躍する外国人材

人材育成、省力化・省人化

① まちづくり×ビジネス実践人材育成事業 500万円【R⑦.2月補正】

まちづくりの担い手を発掘・育成するため、活動立上げ段階から効果的・持続可能な活動への支援までを一体的に行う実践的なプログラムを実施

② とやま観光ビジネスアカデミー事業 2,100万円【R⑦.2月補正】

稼げる観光人材を育成するため、「とやま観光塾」をリニューアルし、「とやま観光ビジネスアカデミー」を新設

③ 富山版MBA開講準備事業 700万円

県内中小企業のリーダー人材育成を支援するプラットフォーム「富山版MBA」の令和9年度の開講に向けた準備

④ 農業研修体制強化事業 1億8,510万円【一部R⑦.2月補正】

実習棟を整備するなど、とやま農業未来カレッジの研修体制を強化

⑤ 福祉分野におけるテクノロジーの導入支援【R⑦.2月補正】

- ・介護事業所における、介護ロボットやICT等のテクノロジー機器の導入を支援 6億3,800万円
- ・障害福祉サービス事業所における、ICTやロボットの導入を支援 1,511万円

⑥ 林業イノベーション推進総合対策事業 1,960万円

スマート林業を普及するため、ICT等の活用による木材生産などの効率化、省力化を実証・普及

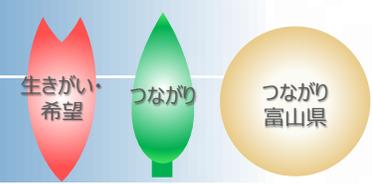


観光ガイドの育成風景



タワーヤードによる効率的な集材

重点的に推進する人口減少対策



① 関係人口による地域活性化モデル事業 1,300万円【R⑦.2月補正】

「ふるさと住民登録制度」の創設を見据え、関係人口や県外企業が地域課題の解決に関与するプロジェクトを実施するとともに、地域の受入れのノウハウや関係人口の参画により地域が得られる効果・メリットを広く発信

② 「地域とつながる」富山暮らし体験事業 1,320万円【一部R⑦.2月補正】

関係人口創出や移住促進のため、移住検討者等を対象に、地域と深く関わる暮らし体験を提供するとともに、地域側の受入体制の構築及び地域人材の育成を推進

③ メディア等を活用した観光誘客促進事業 2,400万円【R⑦.2月補正】

首都圏等メディア（TV・SNS・雑誌等）に対し、効果的な情報提供を行い、富山県の物産・観光等の露出拡大と認知度向上を図るとともに、観光誘客を促進

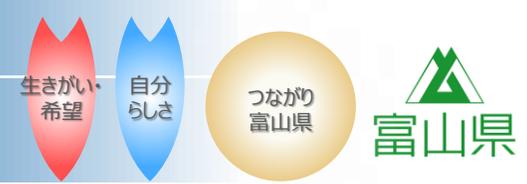
④ 国際路線運航再開・就航促進事業 7,032万円

富山空港国際路線の定期便再開や安定運航、新規路線就航に向け、旅客確保やエアポートセールス等の取組みをインバウンドとアウトバウンドの両面から戦略的に実施



暮らし体験を提供する地域交流プログラム

重点的に推進する人口減少対策



⑤ものづくり企業のバイオ・医薬分野参入推進事業 5,300万円【R⑦.2月補正】

県内ものづくり企業のバイオ・医薬分野への参入を推進するため、マッチングイベントやセミナーの実施、新製品、新技術の研究開発を支援

⑥産学官オープンイノベーション推進事業 9,800万円【R⑦.2月補正】

技術コーディネーターを新たに配置し、動静脈産業の連携強化により、サーキュラーエコノミーを推進

⑦広域連携農林水産物等輸出促進事業 4,230万円【R⑦.2月補正】

全国知事会や北陸三県と連携し、海外での農林水産物等の輸出拡大に向けたプロモーション等を実施

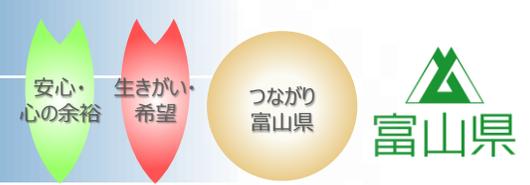
⑧とやま型スマート農業普及拡大支援事業 1億4,149万円【一部R⑦.2月補正】

ロボット、A I、IoT等の情報通信技術を活用したスマート農業技術の普及拡大を図るため、スマート農機の導入を支援し、農業のDX化を促進



ロボットトラクタにより省力化した播種

重点的に推進する人口減少対策



⑨ 地域医療構想策定事業 2,400万円

地域医療提供体制全体に係る需要と供給を分析し、将来ビジョンや方向性を検討

⑩ 新人ハンター養成事業 1,200万円

ツキノワグマをはじめとする鳥獣被害防止の担い手を継続的に確保するため、新人ハンターへの研修や銃購入に対する支援等を実施

⑪ 小・中学生My夢ビジョン事業 540万円【R⑦.2月補正】

小中学生が夢や目標に向かって、自身の生き方について主体的に考える力を育むキャリア教育を推進

⑫ 未来へつなぐ持続可能なインフラマネジメント推進事業 1,180万円

持続可能なインフラマネジメントに向け、道路・橋梁を中心にマネジメント基本方針を策定するほか、県民意識醸成のためのシンポジウムおよび土木・農林行政職員の生産性向上研修を開催



未来に向けた人づくり「こども・子育て」

① 富山県こどもまんなか条例普及啓発プロジェクト 900万円【R⑦.2月補正】

「富山県こどもまんなか社会を実現するためのこどもの権利に関する条例」（略称：富山県こどもまんなか条例）案に定める理念や内容の普及啓発を図るとともに、こどもの権利を守る附属機関を設置・運営

② こども安心センター（仮称）整備事業 25億8,200万円【一部R⑦.2月補正】

令和9年4月の開設に向け、こども安心センター（仮称）の新築工事等を実施



こども安心センター（仮称）
完成イメージ

③ 医療的ケア児への支援

- ・身近な地域における訪問看護提供体制を整備 800万円
- ・一時的な受入れを行う医療機関を支援 1,726万円
- ・一定数以上の一時受入れを行う医療機関を支援 520万円

④ フリースクール等こどもの居場所づくり応援事業 420万円【一部R⑦.2月補正】

不登校など様々な困難を抱えるこどもの学校以外の居場所において、体験学習など特色ある取組みを行う運営団体への支援を拡充



⑤ こども誰でも通園制度事業 6,287万円

保育所等において、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる「こども誰でも通園制度」を実施



未来に向けた人づくり「こども・子育て」



⑥ひとり親家庭応援事業 1億1,600万円【R⑦.2月補正】

低所得のひとり親家庭に対し、食料品や日用品の購入に利用できる電子ポイント（2万円分）を付与

⑦こども食堂物価高騰対策応援事業 400万円【R⑦.2月補正】

物価高騰により食材費が増嵩する中、こどもたちの居場所を確保するため、こども食堂の安定的な運営を支援



こども食堂

⑧困難な問題を抱える女性居場所提供支援事業 660万円

DV被害をはじめ様々な困難を抱える女性とそのこどもが安心して過ごせる居場所を確保し、切れ目のない支援体制を構築

⑨新川こども施設整備・運営事業 18億7,417万円【R⑦.2月補正】（R⑨債務負担行為設定3,482万円）

令和9年8月の開業に向け、建設工事及び開業準備業務を実施



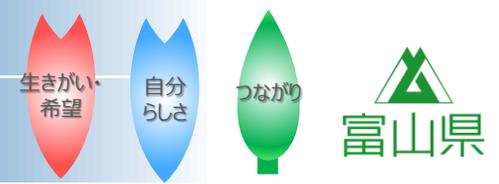
新川こども施設完成イメージ

⑩とやま出会い応援大規模イベント開催事業 800万円

出会いや結婚を希望する若者に広く出会いの機会を提供するため、大規模恋活イベントを開催



未来に向けた人づくり 「教育」



①「新時代とやまハイスクール構想」推進事業 2,000万円

「新時代とやまハイスクール構想」を推進するための検討を行うとともに、国の高校教育改革に関するグランドデザインに呼応した取組みを進めるための体制を整備

②砺波工業高校学科改編環境整備事業 1億1,300万円

「建設系コース」の令和9年度開設に向けた環境整備を実施

③教育費負担の軽減

- ・私立高等学校等の授業料減免の対象世帯を拡充するなど、教育費負担を軽減 26億9,017万円
- ・県立高等学校等に在籍する生徒の教育費負担を軽減 21億1,840万円
- ・小学校給食費の負担軽減 25億4,465万円



給食の時間

④つながる特別支援教育推進事業 100万円

インクルーシブ教育システムの理念に基づき、子供一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援を行うことができる体制づくりに向け、関係機関の連携を強化

⑤部活動の地域展開等推進事業 1億1,540万円

部活動の地域展開に向けて、地域ぐるみで部活動を支援する環境を構築

⑥県立夜間中学環境整備事業 6,490万円

令和9年4月の県立夜間中学の開校に向けて、県民へ周知を図るとともに、開校に向けた準備や環境整備等を実施

未来に向けた人づくり 「文化・スポーツ」



①とやまのユネスコ無形文化遺産登録10周年・追加登録記念事業 100万円

登録10周年を迎えるユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」と、新たに登録された「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」の魅力を発信

②「立山砂防」直轄100年・県営120年プロジェクト事業 1,100万円【R⑦.2月補正】

立山砂防が、県営事業の開始から120年、国直轄事業に移管してから100年の節目を迎えるにあたり、世界遺産登録に向けた県民意識の醸成を図るとともに、そのプロセスへの若者の参加を促進

③「旧高岡共立銀行」防災・活用支援事業 5,744万円

高岡市山町筋の「旧高岡共立銀行」の保存・活用事業に対して、国・高岡市とともに支援

④こども向けアートコンテンツ制作事業 600万円【R⑦.2月補正】

富山県美術館において、こどもが遊びながらアートやデザインに親しめる体験型コンテンツを制作

⑤富山県武道館等の整備

- ・富山県武道館の建設工事等を実施 25億8,150万円
- ・県営富山弓道場及び県スポーツ協会屋内相撲場の改修に向けた検討を実施 1,130万円

⑥ボールシティとやまプロジェクト支援事業 2,250万円【R⑦.2月補正】

本年7月に本県で開催されるプロ野球オールスターゲームを契機とした地域活性化の取組みを支援

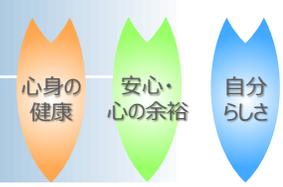


放生津八幡宮祭の曳山(築山行事)



富山県武道館完成イメージ

未来に向けた人づくり 「健康・医療・福祉」



① 高齢者施設及び障害福祉施設に対するサービス継続支援事業 7億9,940万円【R7.2月補正】

高齢者施設及び障害福祉施設に対し、サービスを継続するために必要な経費を支援

② 孤独・孤立対策官民連携強化事業 190万円

孤独・孤立問題に関する理解や対策機運の醸成を図るため、イベント等を開催

③ 認知症にやさしい地域づくり推進強化事業 450万円

認知症機能簡易チェックイベントや予防に有効な難聴対策の普及啓発を実施

④ 障害者芸術文化育成支援事業 240万円

障害者の社会参加を促進し、県民の障害者に対する理解と関心を深めるため、障害者の文化・芸術に関する発表の機会を創出

⑤ 歯と口腔の健康づくり普及啓発事業 252万円

歯と口の健康づくりに対する県民一人ひとりの関心を高め、その実践を促進するため、普及啓発を実施

⑥ 県立中央病院の経営安定化

- ・一般会計からの繰出しを増額 18億2,723万円
- ・光熱費等の高騰分を支援 6億5,241万円【R7.2月補正】

⑦ 戦災資料等の収集・展示に関するあり方検討事業 100万円

富山大空襲など戦争関連の資料の収集、保管及び常設展示のあり方を協議・検討する協議会を設置



障害者の作品展示

未来に向けた人づくり「スタートアップ」

①北陸スタートアップ・エコシステム形成事業 380万円

北陸からグローバルに活躍するスタートアップを創出・育成するため、北陸三県でコンソーシアムを形成し、相互連携によりスタートアップを支援

②首都圏からのスタートアップ人材流入・定着促進事業 750万円【R⑦.2月補正】

首都圏からの起業家人材の流入・定着を促進するため、県外在住の起業志望者等を対象に、スタートアップを体系的に学ぶ講座や県内での起業に必要なコーディネートを実施

③ベンチャー連携・創薬支援事業 1,545万円【R⑦.2月補正】

県内製薬企業がベンチャー企業・スタートアップ企業と連携して実施する、革新的・新規性の高い医薬品等の研究・開発を支援

④とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業 4,574万円【R⑦.2月補正】

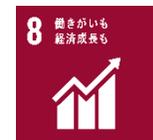
スタートアップエコシステムの形成に向け、スタートアップ案件の発掘やハンズオン支援、県内企業・団体の機運醸成等を実施

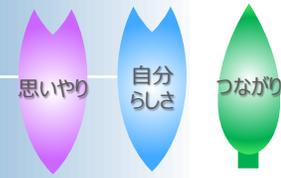


「北陸スタートアップ・エコシステム・コンソーシアム」キックオフイベント



T-Startup企業の選定





未来に向けた人づくり 「人材活躍・共生」

① デジタルノマド受入れに向けた理解醸成・調査事業 400万円【R⑦.2月補正】

関係人口の拡大に向け、デジタルノマド（デジタル技術を活用して旅をしながら働く）人材を呼び込むため、事業者向けセミナーの開催や、マーケティング調査を実施

② 外国人材定着モデル企業支援事業 440万円【一部R⑦.2月補正】

日本語習得、職場環境整備、地域交流の一連の取組みを行うモデル企業を伴走支援

③ 高校生と描く「未来共創プロジェクト」事業 100万円【R⑦.2月補正】

次代を担う高校生に総合計画の普及啓発を図るとともに、「富山の未来のために自分にできること」を考えるワークショップを開催



企業における外国人活躍

④ 体験から学ぶアンコンシャス・バイアス発見事業 300万円【R⑦.2月補正】

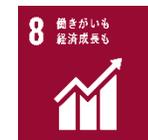
次世代を担う子どもや保護者に対し、アンコンシャス・バイアスへの気づきを促す体験型ワークショップ（ハットニヤール博士の研究所inとやま）を開催

⑤ 北陸三県連携 ウェルビーイング向上による人口戦略推進事業 1,000万円

ウェルビーイング向上による若者や女性に選ばれる地域づくりや人口減少対策の機運を醸成するフォーラムを北陸三県で連携して開催

⑥ 富山県・オレゴン州交流促進事業 1,700万円

友好提携先であるアメリカオレゴン州と友好訪問団相互派遣等を実施



新しい社会経済システムの構築 「インフラ・県土強靱化」

予算規模（11月補正・2月補正（冒頭提案分）を含む。）

- ◆ 公共事業約901億円（R7比101.4%）前年度を上回る規模を確保
- ◆ 主要県単独事業約186億円（R7比95.4%）道路メンテナンスの重点化に対応

県民と県土を「守る」

- ① 河川・海岸・砂防事業 99.9億円
堤防、離岸堤、砂防堰堤の整備 など
- ② 農地防災事業・治山事業 75.4億円
防災重点農業用ため池、農業用水路の安全対策、治山施設の整備 など

魅力ある日々の暮らしを「支える」

- ① 人にやさしいみちづくり 161.5億円
通学路など歩道の整備、消雪施設、道路除雪、道路防災対策 など
- ② 都市基盤の整備 59.5億円
富山駅付近連続立体交差事業、都市公園の計画的な整備・更新 など

人口減少を見据え未来のインフラを「創る」

- ① インフラの老朽化対策 176.8億円
橋梁、トンネル、ダム、港湾施設などの定期点検及び持続可能なマネジメントにつながる修繕・更新など
- ② 道路ネットワークの整備 31.6億円
県道高岡環状線、県道富山立山公園線 など
- ③ 港湾・漁港の整備 32.5億円
臨港道路伏木外港1号線、漁港施設の整備 など

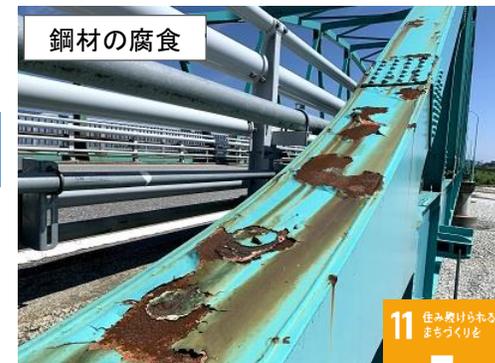
県立高校や県有施設

各種施設の維持修繕に加え、特別教室への空調整備や交通安全施設の改良整備を計画的に推進

31.3億円



ため池の整備例(黒河新地区)



鋼材の腐食

県道魚津生地入善線
下黒部橋の老朽化対策



(参考) 社会資本整備の主な箇所

東海北陸自動車道の4車線化の推進

<中日本高速道路株式会社>

- 福光IC～南砺スマートIC
- 五箇山IC～城端スマートIC
- 白川郷IC～五箇山IC



4車線化の事業中区間

国直轄事業の推進

<国土交通省、農林水産省>

- 富山高山連絡道路 (猪谷榆原道路, 大沢野富山南道路)
- 富山外郭環状道路 (豊田新屋立体, 中島本郷立体)
- 高岡環状道路 (六家立体)
- 国道8号 (入善黒部バイパス, 倶利伽羅防災, 富山朝日防災)
- 国道415号 (氷見羽咋防災)
- 伏木富山港 (伏木地区北防波堤の老朽化対策など)
- 神通川、利賀ダム、立山砂防
- 国営農地再編整備事業 (水橋地区) など



国道8号豊田新屋立体

県民と県土を「守る」



白岩川 (R5.6豪雨による越水)



干谷川地区 (谷止工の整備)

○河川・海岸・砂防事業

- ・河川 泉川(氷見)、坪野川(富山)、鴨川(魚津)
白岩川(立山・上市) 護岸の修繕や浚渫・伐木 など
- ・海岸 富山海岸(富山) など
- ・砂防 池川(南砺)など

○農地防災事業・治山事業

- ・農地防災 針山口六ヶ用水一期地区(射水ほか)
打尾谷ため池地区 (南砺) など
- ・治山 干谷川(南砺) など

人口減少を見据え未来のインフラを「創る」

○インフラの老朽化対策

- ・橋梁、トンネル、河川管理施設、ダム、砂防関係施設
下水道施設などの点検・修繕・更新
- ・県道富山魚津線 今川橋の架替(富山) など

○道路ネットワークの整備

- 県道高岡環状線(高岡)
- 県道富山立山公園線(立山)
- 県道魚津生地入善線(魚津-黒部) など

○港湾・漁港の整備

- ・港湾 臨港道路伏木外港1号線(高岡) など
- ・漁港 新湊漁港(射水)の護岸改良など



橋梁の老朽化対策 (県道八幡田稲荷線 稲荷町跨線橋の損傷状況)



県道高岡環状線

魅力ある日々の暮らしを「支える」

○人にやさしいみちづくり

- ・歩道整備 県道砺波小矢部線(小矢部) など
- ・消雪施設 県道上飯野入善停車場線(入善) など
- ・斜面对策 国道156号(砺波-南砺) など

○都市基盤の整備

- 富山駅付近連続立体交差事業(富山)
- 太閤山ランド(射水)、(都)駅前栄町線(砺波)など

○市街地再開発事業

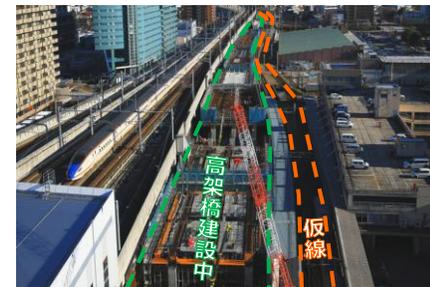
- 中央通りD北地区(富山)

○農地整備事業

- 長引野西部地区(魚津) など

○農業用水路の安全対策

- 網蓋・看板設置等 県内20地区への支援 など



富山駅付近連続立体交差事業 (富山地方鉄道本線)

(参考) 令和の“公共インフラニューディール”道路集中メンテナンス

1 事業期間 4年間 (R⑧~R⑪)

2 事業規模 総額15億円

- ・令和8年度当初予算において、主要県単道路改良事業等を一旦縮減
- ・縮減額を道路のメンテナンス集中期間の財源に振替え

3 事業内容

交通安全や交通円滑化に資する区画線整備等の道路維持修繕を強化

(1) 令和8年度：5億円 従来分2.5億円に上乗せし、区画線を重点整備

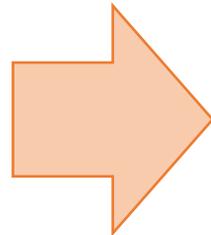
⇒ 延べ約1,000kmの区画線※を引き直し ※道路延長換算では約400km分に相当

(2) 令和9年度~令和11年度：10億円

道路舗装補修を強化するとともに、区画線の施工も引き続き実施



施工前



施工後

新しい社会経済システムの構築 「インフラ・県土強靱化」

安全・安心な地域づくり

①クマ被害防止総合対策事業 4,650万円

ツキノワグマによる人身被害を防止するため、新たに自治会等の取組みを支援するなど、市町村と連携して総合的な対策を実施

②自転車損害賠償保険等加入促進キャンペーン事業 300万円【R⑦.2月補正】

改正富山県自転車活用推進条例案で義務化する自転車損害賠償保険等への加入について、県民や団体に対し集中的に広報を実施

③新警察署の再編整備等

- ・（仮称）砺波警察署の整備 3億4,280万円（R⑨～⑩債務負担行為設定32億7,700万円）
- ・（仮称）高岡警察署の整備 5,290万円
- ・新川エリア新警察署の整備 1,050万円
- ・高岡警察署野村交番の移転新築整備 8,700万円



（仮称）砺波警察署完成イメージ

④県民を詐欺から守るための新総合対策 300万円

より複雑化・巧妙化する詐欺等の被害を食い止め、安全・安心な社会を実現するため、官民合同会議での情報共有やSNS広告での啓発を強化

⑤犯罪被害者等支援多機関ワンストップサービス体制構築事業 140万円

犯罪被害者等が抱える複雑な状況やニーズに応じ、行政、警察、民間団体等が連携し、それぞれの機関・団体が持つサービスを的確に提供するため、多機関ワンストップサービス体制を構築



新しい社会経済システムの構築 「まちづくり・交通」

① 城端線・氷見線の再構築

- ・利便性・快適性の向上を図る施設整備や直通化調査等を支援 31億4,900万円【一部R⑦.2月補正】
- ・あいの風とやま鉄道への事業主体変更に向けた準備経費 500万円

② 富山地方鉄道鉄道線の再構築に向けた取組み

- ・鉄道ネットワークを維持するため、県、沿線自治体で収支差の一部を負担 2億円
- ・鉄道線の再構築に向け、新たな検討組織を設置し、調査・検討を実施 2,540万円
- ・立山線の利用者増に向けたプロモーション等 1,000万円



城端線・氷見線
新型車両外観イメージ

③ 富山空港の活性化

- ・混合型コンセッションを導入し、民間事業者により富山空港を運営 3億6,300万円
- ・空港利用促進のため新たな会員組織を立ち上げ、子育て世帯の利用への特典等を新設 5,555万円
- ・ビジネス利用や旅行商品造成に対する助成、西日本や札幌を重点としたプロモーションを実施 3,270万円



④ 空き家フルリノベーション支援事業 975万円

空き家の発生防止や利活用促進のため、民間業者が販売を目的に、空き家を一定以上の断熱性や耐震性を有する住宅に改修する際の費用を支援

⑤ 中山間地域「みらい型」地域活動デザイン事業 300万円【R⑦.2月補正】

人口減少による地域の担い手不足に対応するため、地域活動・運営の再設計、地域間連携、外部人材の活用など「みらい型」の持続可能な地域運営の仕組みづくりを推進

新しい社会経済システムの構築 「農林水産」



① 新規就農者チャレンジ事業 1,173万円

65歳未満の認定新規就農者の早期の経営発展に必要な農業機械・施設の導入等を支援

② 農業共同利用施設再編集約合理化等支援事業 12億7,787万円

産地の共同利用施設等の整備や老朽化施設等の再編集約・合理化等を重点的に支援

③ 2027国際園芸博覧会出展事業 1,300万円

横浜市で開催予定の国際園芸博覧会（GREEN×EXPO2027）に出展し、県産花きの魅力を国内外へ発信



2027国際園芸博覧会
(富山県出展イメージ)

④ チューリップ球根次世代生産モデル確立支援事業 340万円

ネット栽培体系の普及拡大のためのモデルづくり及びネット栽培機械の特長を最大限活用したリレー生産方式（種球生産の分業方式）の確立・普及に向けた取組みを支援

⑤ 漁業調査船「新立山丸（仮称）」建造事業 6億9,640万円

（継続費設定R⑧～⑩ 23億2,001万円）



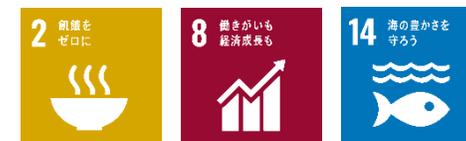
立山丸(現船)

⑥ 地域資源Re活用付加価値創出事業 1,900万円【一部R⑦.2月補正】

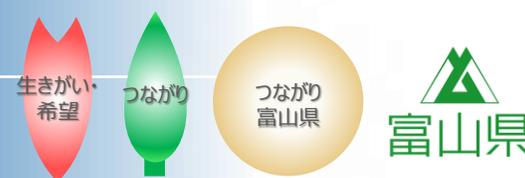
農林漁業者が自ら生産した農林水産物等の高付加価値化や農山漁村に内在する多様な地域資源を最大限に活用することを促し、農山漁村の持続的発展を推進

⑦ 地域おこし協力隊を活用した「農村関係人口」創出事業 275万円

地域おこし協力隊を採用し、地域資源の発掘・活用や情報発信・イベント運営等を実施



新しい社会経済システムの構築 「産業・GX」



① 新分野進出サポート事業 747万円

新世紀産業機構に受発注コーディネーターを新たに配置するとともに、「富山県受注企業情報サイト」のリニューアルを実施

② 中小企業デジタル変革推進事業 3,150万円【R7.2月補正】

研修講座を開催するほか、デジタル化相談窓口やとやまDXパートナー等による相談・伴走支援体制を強化

③ 地域資源を活用したウェルネス産業振興事業 300万円

ウェルネス産業の振興に向けて、本県の様々な地域資源を活かしたサウナの魅力を発信

④ 経営者保証非提供推進事業 330万円

国制度「協調支援型特別保証」を利用する中小企業者が経営者保証を外す場合の上乗せ保証料を補助

⑤ 企業立地助成金

- ・立地企業への助成 11億3,890万円
- ・成長産業分野の企業立地の促進や若者・女性が活躍する企業が本社機能等を県外から移転する場合の上乗せ制度を創設するなど、メリハリある制度に改正

⑥ 水素モーダルコンビネーション輸送実証事業 2,200万円

伏木富山港を活用した、日本初となるコンテナによる水素のモーダルコンビネーション（複数の輸送手段の最適な組合せ）の輸送実証を実施

⑦ 伝統工芸海外販路開拓支援事業 370万円【R7.2月補正】

他自治体等と連携し、伝統工芸品の購買意欲が高い海外向けの販路開拓を実施

⑧ 中小企業成長応援ファンド事業

県内金融機関と県が一体となって造成したファンド（総額150億円）の運用益を活用し、県内中小企業等による新商品開発や販路開拓、事業承継のほか、被災事業者の事業再建やスタートアップの取組み等を支援



海外バイヤーとの伝統工芸品の商談会



新しい社会経済システムの構築「観光」

① 富山県体験コンテンツ造成・販売支援事業 1,000万円【R⑦.2月補正】

インバウンド誘客の拡大に向け、県内体験コンテンツの造成・磨き上げや、海外OTA（オンライン旅行代理店）等を活用したプロモーションを実施

② 北陸三県による広域観光誘客促進事業 1,540万円

三大都市圏に加え、新たに東北エリアをターゲットに、観光情報の発信や観光地としての魅力づくり、広域周遊を促進

③ 近隣県とのインバウンド周遊促進事業 900万円【R⑦.2月補正】

近隣県とのインバウンド周遊の促進に向け、旅マエ・旅ナカでのプロモーションを実施

④ 米国観光PRイベント開催事業 2,260万円【R⑦.2月補正】

米国からのインバウンド誘客の拡大に向け、認知度向上のための観光PRイベントを開催

⑤ 「寿司といえば、富山」ブランディングの推進

- ・官民連携等による情報発信、国際学会への出展等 1,820万円【R⑦.2月補正】
- ・地域おこし協力隊員の活用等を通じ、寿司を入口として本県の魅力を国内外に発信等 837万円【一部R⑦.2月補正】
- ・寿司職人チャレンジショップの開催、寿司職人養成校受講生への支援等 782万円【一部R⑦.2月補正】

⑥ ISTSプレイイベント開催事業 100万円【R⑦.2月補正】

令和9年7月に富山国際会議場で開催されるISTS（宇宙技術および科学の国際シンポジウム）の機運醸成のため、航空宇宙に関する講演会を開催

⑦ 「TGC TOYAMA 2026」開催事業 4,000万円【R⑦.2月補正】

県内外の若年層等への本県の魅力発信や、震災からの心の復興につなげるため、「TGC TOYAMA 2026」を開催

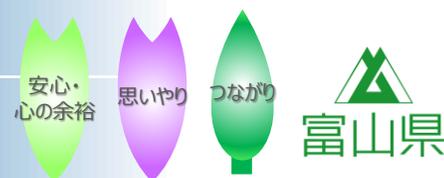


インバウンド向け県内体験コンテンツ（鋳物体験）



寿司職人チャレンジショップ 寿司挑（すしチャレ）

新しい社会経済システムの構築「環境」



① バイナリー発電地熱井調査事業 2億4,200万円

魚津地域でのバイナリー方式による地熱発電導入に向け、事業実施の可能性を調査

第4弾
キャンペーン

② 省エネ家電・機器買い換え促進による生活者支援事業 7億円【R7.2月補正】

省エネ性能の高い家電・機器の購入者に対し、品目に応じたポイントを付与し、買い換えを促進
(購入品目に応じて1,000円～100,000円)



③ 低燃費タイヤ導入費支援事業 1,500万円【R7.2補正】

物価高騰の影響を受けるトラック事業者に対し、低燃費タイヤへの更新費用を支援

④ ニホンザル捕獲強化実証事業 200万円【R7.2月補正】

ニホンザルの加害群の効率的な捕獲を行うため、GPSを用いた捕獲を試行的に実施

⑤ クマ対策緊急3箇年森林整備事業 3,350万円

クマの出没件数が多い地域において、クマとの棲み分けを図る森林整備や電気柵の設置等を集中的に実施
(令和6年度より3年間)



海的环境観察会

⑥ ネイチャーポジティブ・環境保全活動機運醸成事業 90万円

ネイチャーポジティブ（自然再興）の認知度を向上させるとともに、環境資源の保全活動を促進するため、環境イベントや動画発信等を通じて広く普及啓発を実施



持続可能な行財政運営

① 県庁周辺エリアマネジメント推進事業 700万円

県庁周辺エリアの「ありたい姿」の実現に向けた検討を進めるとともに、基本構想に沿ったアクションを実行

② 県営水力発電所リプレース事業 31億1,760万円

2発電所（大長谷第二、仁歩）について、リプレース（全面的更新）を実施

③ 公用施設総合管理基金の創設 63億5,000万円

施設の老朽化が進行するとともに、人口減少により公用施設需要に大きな変化が見込まれるなか、計画的・安定的に公用施設の改修・整備を進めるための基金を創設

④ 県職員等の確保の強化

- ・複雑・高度化する行政課題に対応する県職員等の確保に向けた取組みを強化 1,030万円
- ・獣医師職員を確保するため、修学資金貸与制度を拡充するほか、新たに返済支援制度を創設 1,996万円

⑤ 物価高騰に伴う使用料・手数料の一斉改定

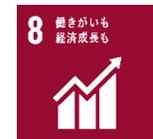
前回の一斉改正（H12）からの物価等の上昇を踏まえ、見直しが必要な使用料・手数料を一斉に改定



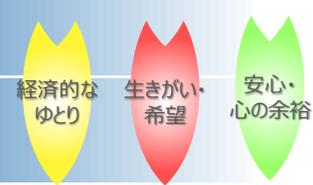
NHK跡地を活用した賑わい創出



獣医師職員の確保



(参考) 物価高騰への対応



- ① **ひとり親家庭応援事業 1億1,600万円【R7.2月補正】【再掲】**
低所得のひとり親家庭に対し、食料品や日用品の購入に利用できる電子ポイント（2万円分）を付与
- ② **省エネ家電・機器買い換え促進による生活者支援事業 7億円【R7.2月補正】【再掲】**
省エネ性能の高い家電・機器の購入者に対し、品目に応じたポイントを付与し、買い換えを促進
(購入品目に応じて1,000円～100,000円)
- ③ **社会福祉施設等に対する物価高騰対策支援事業 8億4,900万円**
物価高騰等の影響を受ける社会福祉施設、医療機関等に対し、光熱費等の高騰分を支援（R8年度分）
- ④ **農林水産事業者に対する物価高騰対策支援事業 5,825万円**
エネルギー価格・物価高騰の影響を受ける施設等に対し、光熱費等の高騰分を支援（R8年度分）
- ⑤ **低燃費タイヤ導入費支援事業 1,500万円【R7.2補正】【再掲】**
物価高騰の影響を受けるトラック事業者に対し、低燃費タイヤへの更新費用を支援
- ⑥ **価格転嫁総合推進事業 1,570万円**
価格転嫁に関する実態調査や機運醸成に取り組むとともに、価格転嫁推進サポーターによる伴走支援等を実施
- ⑦ **賃上げ応援事業 1,000万円**
賃上げに関する国等の支援制度を活用するために必要な就業規則の整備等に取り組む中小企業・小規模事業者を支援

